

ピクルス

町田第二中学校 一年

きくち しょうたろう
菊池 章太郎

——開発者の福神助さんに来ていただきました。福さん、よろしくお願いします。

「二九六二年八月二十一日の今日、新商品、その名もピクルスの発売を決定いたしました。本商品は、漬け物を泳げるようにするために——」

「なあなあ、今度これを使った漬け物を水槽に入れて観察してみよーぜ、えーと値段は……」
そう言いながらあさひはスマホで値段を調べ始めた。曰く、ピクルスの値段は一パック五百円弱、五パック入りの箱は二千円程度だそうだ。

「ちよつと買ってくるわ。また明日な。」そう言うにあさひは僕の家を飛び出して、近くのスーパーに買いに行った。

翌日、家から水槽とピクルスを持ってきたあさひは僕の家へ来た。そして僕とあさひは実験を開始した。ピクルスを沢庵にふりかけて水槽に入れると元氣よく泳いだ。沢庵は切るか切らないかで泳ぎ方が変わった。沢庵を切るとイワシのように群れをなして泳ぐし、切らなければイルカのように泳いだ。沢庵だけでなく、柴漬けやキムチにもピクルスをかけて水槽に入れた。しばらくの間、何事もなく漬け物たちが泳いでいたので、僕たちは昼寝をすることにした。しばらく寝ていたらあさひの声が聞こえた。「水の色が変わってる！」僕も慌てて飛び起きてみたら水の色が赤紫になっていた。あさひは水を舐めると「しよっぺえ」と言った。漬け物たちがずっと水に浸かっていると味や色が抜けて水に溶け込んでいるみたいだ。——あとになって池や湖で漬け物が泳いだため日本の湖などが海になっていることが分かった。もしかしたら海の水がしよっぱいのは何万年も前に漬け物が大きい湖で泳いでいたからなのかもしれない。

市長賞
菊池章太郎「ピクルス」

市長賞
菊池章太郎「ピクルス」

審査員講評

ピクルスというネーミングや、沢庵、柴漬け、キムチという漬物のチョイスがユニークで、非凡なセンスを感じました。イワシやイルカのように泳ぐ沢庵の映像も愉快です。ラストで池や湖へと空間的に拡大していくことに加え、太古の海へと時間的にも拡大していき、その視点の移動のさせ方とスケールの大きさもとても魅力的でした。

—— 田丸 雅智